



茨城県立看護大学校

IBARAKI PREFECTURAL NURSING SCHOOL

看護学科(4年)

助産学科(1年)



明日の医療を
支える人になる。

Become the one who supports
tomorrow's healthcare.

2026
学校案内



明日の医療を
支える人になる。



Become the one who supports
tomorrow's healthcare.

教育理念 Educational Philosophy

茨城県立看護大学校は、地域医療を支え県民の健康の担い手として、あらゆる場で活躍できる質の高い看護師・助産師の育成を使命とします。

看護学は、生命の尊厳と人間愛を基盤とした実践の科学であるとともに、対象のあらゆる健康の段階に働きかけ、対象がその人らしい生活をおくれるよう支援することです。

さらに、看護の対象は、多様な価値観をもち地域社会の中で生活し、成長・発達・変化し続ける人間であることから、専門職業人として豊かな人間性と倫理性を養うとともに、他の専門職種等と連携・協働し、生涯学び続ける姿勢をもち、社会のニーズに即した看護実践力の目指します。

CONTENTS

- P01-P02 コンセプト

- P03-P06 看護学科の紹介

- P07-P10 助産学科の紹介

- P11-P13 キャンパス案内

- P14 学費・諸経費・奨学金等



大学校からの メッセージ



本校は創立以来70年以上にわたり、県内の保健・医療・福祉の現場で活躍する多くの看護師・助産師を育成してきました。

学校のキャッチフレーズは、「明日の医療を支える人になる」。この言葉には、変化し続ける社会の中で、人に寄り添い、専門職として考え行動できる人材を育てたいという願いが込められています。

高齢化の進行や医療の高度化・多様化により、看護師にはこれまで以上に幅広い知識と確かな実践力が求められています。一方で、看護師教育における実習時間の短縮や、現場とのギャップによるリアリティショックは大きな課題となっています。

こうした背景を踏まえ、本校は2026年4月より看護学科を4年間のカリキュラムに改正し、助産学科も、ハイリスク分娩や多様なニーズに対応できるようカリキュラムを改正し、県内初の看護大学校として新たな一步を踏み出します。

基礎から応用、そして探究へとつながる体系的な学びと、充実したシミュレーション教育・臨地実習を通して、実践力を備えた看護師・助産師を育成します。

どんな時代にも対応でき、あらゆる現場で活躍できる力を身につけ、県立学校として茨城県民の健康と暮らしを支える存在へ。

ここから、あなたの未来が始まります。

学校の沿革



- 昭和 29 年 県立准看護婦養成所設置
- 昭和 37 年 県立高等看護学院設置(課程変更)
- 昭和 40 年 県立公衆衛生看護学校を統合, 県立看護専門学校に改名
- 昭和 45 年 公衆衛生看護学科を保健助産学科に変更
- 昭和 54 年 保健助産学科を助産学科に変更
- 昭和 59 年 現在地に移転
- 平成 2 年 学生寮竣工
- 平成 3 年 創立 30 周年記念「薫風」建立(日展理事能島征二氏 制作)
- 平成 14 年 専修学校に認可
- 平成 16 年 県立水戸看護専門学院を統合 県立中央看護専門学校と改名 講義棟増築 助産学科・看護学科 3 年課程・2 年課程 / 2 学科 3 課程となる
- 平成 24 年 創立 50 周年記念「天使の椅子」建立(日本芸術院会員能島征二氏 制作)
- 平成 25 年 看護学科定数変更(2 年課程定員 80 名)
- 令和 6 年 看護学科 2 年課程募集停止
- 令和 7 年 看護学科 3 年課程募集停止
- 令和 8 年 茨城県立看護大学校と改名 看護学科・助産学科となる

看護学科

放送大学とのダブルスクール

本校の看護学科は、平成 16 年 2 月から放送大学と「ダブルスクール型編入型」の連携協力形態をとっています。本校に在学しながら放送大学にも入学し、放送大学の科目を併修する「大学併修」の形式を実施しています。時間と場所を問わずに学習できる放送大学の特徴を活かし、本校での学習と組み合わせて学ぶことができ、放送大学卒業により学士(教養)の学位を取得することも可能です。

放送大学で必要科目を履修し、(独)大学改革支援学位授与機構に申請することで、学資(看護学)の資格取得可能です。詳細は、放送大学のホームページを参照してください。

助産学科

教育訓練給付制度

労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、その費用の一部が支給される制度です。対象となる教育訓練は、そのレベルなどに応じて種類があり、それぞれ給付率が異なります。助産師・看護師など業務独占資格などの取得を目標とする学校は、「専門実践教育訓練」となり、最大で受講費用の 80% 教育訓練給付金を受けることができます。

給付条件や手続きの詳細な内容は、お住まいを管轄するハローワークにお問い合わせください。又は 厚生労働省ホームページ(教育訓練給付制度について)を参照してください。

注意)看護学科は、教育課程の変更に伴い、指定基準・条件を満たしていないため、対象外です。





教育目標

豊かな感性と教養を基盤に、高い倫理観と専門性を備え、科学的根拠に基づく実践力を身につけ、地域社会で多職種と連携しながら看護の役割を果たせる人材の育成を目指します。

1. 豊かな感性と教養を培い、高い倫理観及び人間関係形成能力を養う
2. 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と看護実践力を養う
3. 地域社会の保健・医療・福祉における看護の役割と責任を自覚し、多職種と連携・協働できる能力を養う
4. 専門職業人として、生涯を通じて自己研鑽し、看護の質向上のために探究し続ける能力を養う

ディプロマポリシー (卒業認定の方針)

所定の教育課程を修了し、多様な人々の生活や文化を尊重する倫理観を備え、専門的知識と科学的根拠に基づいた判断力・実践力を身につけた学生に卒業を認定します。多職種と連携・協働しながら、地域やさまざまな場において看護の役割と責任を果たし、看護の質向上に貢献できることを卒業の要件とします。

- 看護専門職としての倫理観と責任
- 科学的根拠に基づく判断力と実践力
- 生涯学び続ける姿勢と地域貢献力

カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)

本校は、茨城県の地域医療を支える質の高い看護師の育成を目的に、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成したカリキュラムを編成しています。感性・思考力・実践力・成長力を段階的に高め、講義・演習・シミュレーション学習・臨地実習を通して、科学的根拠に基づく看護実践力を養います。

- 地域医療を支える実践重視の教育
- 4年間を通した段階的な能力育成
- 多様な評価方法による学修成果の確認

アドミッションポリシー (入学者受入の方針)

看護学科では、看護を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を備え、相手を尊重した言葉や態度で他者と関わることができる人を求めます。課題を主体的に見だし、解決に向けて考える力を有し、就業体験やボランティア活動等を通して、多様な人々と協力しながら学ぼうとする意欲のある人を入学者として受け入れます。

- 看護に必要な基礎学力と学習意欲
- 他者を尊重したコミュニケーション力
- 主体的に考え行動する姿勢

定員

40名（修業年限 4年）

入学資格

高等学校以上の卒業資格を持ち、看護師を希望する者

卒業後に取得できる 資格・称号

高度専門士・看護師国家試験の受験資格

BLSプロバイダー（心停止又は呼吸停止後の救急救命の基礎を学べる資格）

大学院（修士課程・博士課程（前期））の入学資格・保健師・助産師養成所の受験資格

看護学科のカリキュラム

高度な講義と豊富な臨地実習、シミュレーション教育を組み合わせたカリキュラムにより、知識・技術・態度を段階的に修得します。地域や多職種と連携した学修を通して、現場で求められる実践力と的確な判断力を備え、幅広い場面で活躍できる看護師の育成を目指します。



POINT

■ 高度な授業の展開

臨床経験豊富な講師陣による質の高い教育により、専門的な知識や技術に加え、高い倫理観と人間性を育みます。

POINT

■ 臨地実習の充実

県内トップクラスの実習時間を確保し、より深く看護を学びながら、現場で求められる知識・技術・態度を統合し、臨床実践力を身につけます。

POINT

■ シミュレーション教育の強化

シミュレーターを活用した演習に加え、実践に近い環境で能力を評価するOSCEを実施し、学内でも看護実践能力を高めていきます。

POINT

■ 地域や多職種との連携の充実

地域・在宅医療やさまざまな職種と連携・協働するチーム医療を学び、地域社会で必要とされる看護師となる力を養います。

POINT

■ 高度専門士の取得

卒業後は大学院への進学資格が付与されるなど、大学卒業と同等の学位として認められ、将来の進路の幅が広がります。



大学よりも専門科目が充実。3年課程よりも一般教養が充実

科目	茨城県立看護大学校	大学平均（126単位）	3年課程（102単位）
専門科目	112単位	99単位	65単位
一般教養	21単位	27単位	14単位

看護学科

Nursing Program



看護学科は、高度化する医療に対応できる知と実践力を備えた看護師の育成を目指します。基礎科学から専門領域まで体系的に学び、シミュレーション教育と臨地実習を通して臨床判断力を磨きます。修了時には「高度専門士」の称号を取得でき、地域に根ざした実践と主体的な探究を通して、将来の進学や専門性の深化につながる確かな基盤を形成します。



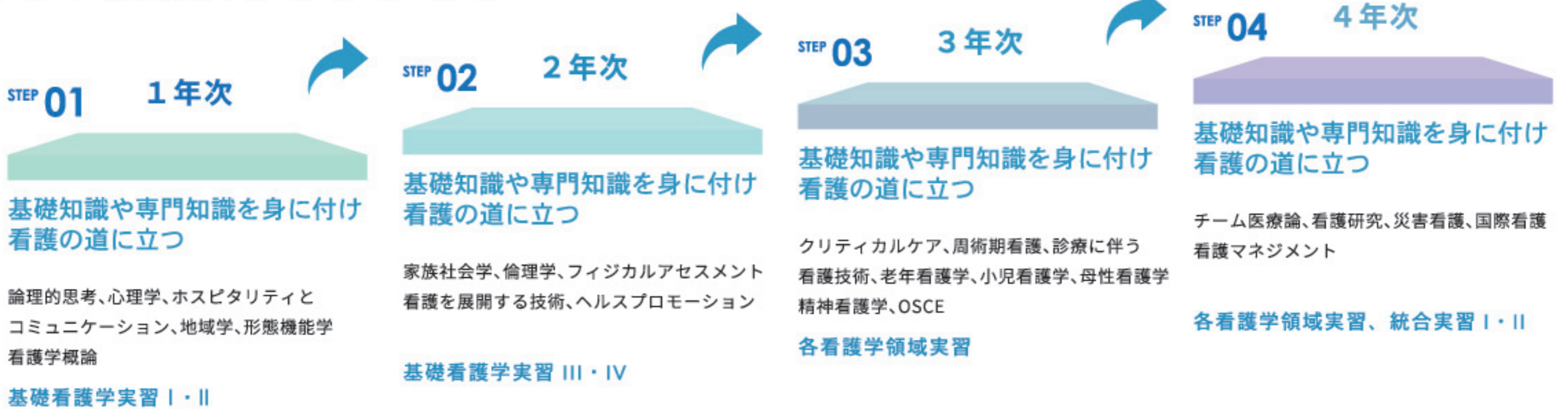
看護学科の特徴

4年間の修業年限を駆使し、詰め込み教育を見直し、段階的にじっくり・しっかり・着実に看護を学ぶことができます



※OSCE (Objective Structured Clinical Examination) 「客観的臨床能力試験」と呼ばれ、医療系教育における評価方法の一つです。

4年間のステップアップ



看護師国家試験合格のためのサポート体制

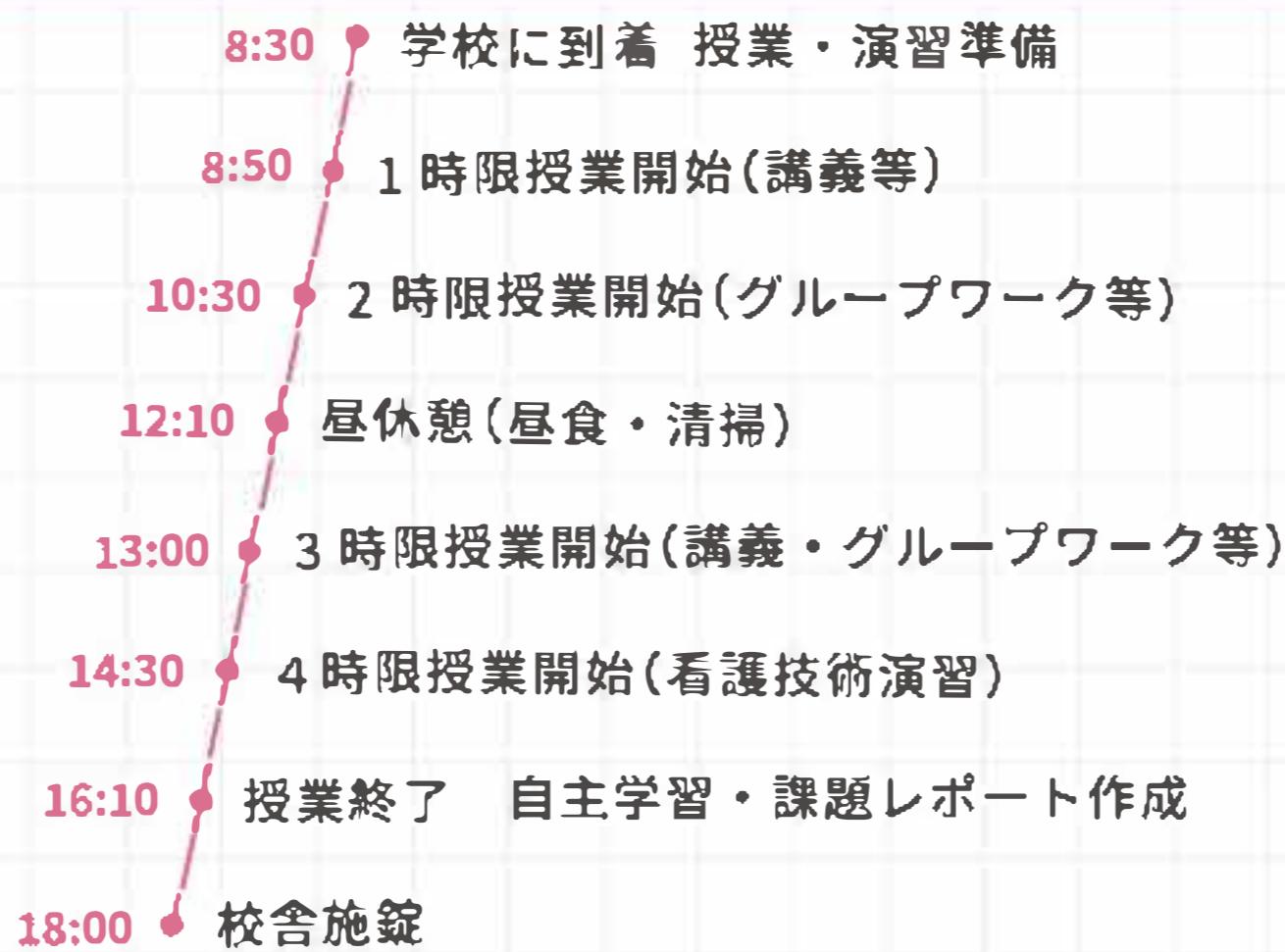
本校では、看護師国家試験合格に向け、入学後から段階的な学習支援を行っています。基礎から応用へと系統的に学ぶカリキュラムに加え、模擬試験や個別面談、学習到達度に応じた指導を実施しています。学生一人ひとりの理解度に寄り添い、確実な合格へと導きます。

看護学生 1日のスケジュール



Schedule of School Life

本校入学後、どのような日々を過ごすのか、一例を紹介します。



4年間の臨地実習カレンダー

学期	前期						後期					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次			基礎看護学実習Ⅰ				基礎看護学実習Ⅱ					
2年次				基礎看護学実習Ⅲ						基礎看護学実習Ⅳ		
3年次						老年看護学実習			成人・老年看護学実習Ⅰ		精神看護学実習	
4年次	成人・老年看護学実習Ⅱ 地域・在宅看護論実習Ⅱ 小児看護学実習						統合実習Ⅰ・Ⅱ		地域・在宅看護論実習Ⅰ 小児看護学実習 母性看護学実習			

主な実習施設

2024年度卒業生 ※50音順

茨城県内

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター／茨城県立こころの医療センター／茨城県立こども病院／水戸赤十字病院
日立製作所ひたちなか総合病院・その他、多数実習施設があります。

就職施設

2024年度卒業生 ※50音順

茨城県内

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター／茨城県立こども病院／水戸済生会総合病院／水戸赤十字病院／独立行政法人水戸医療センター
独立行政法人茨城東病院／東京医科大学茨城医療センター／つくばセントラル病院／筑波記念病院／牛久愛和総合病院／小山記念病院

茨城県外

津田沼中央病院（千葉）、種子島医療センター（鹿児島）

進学

助産師養成所：茨城県立看護大学校助産学科
マロニエ医療福祉専門学校助産学科
保健師養成所：栃木県立衛生福祉大学校保健学科

就職

4年間を通して、就職に関連するガイダンスや社会人基礎力講座などの多彩なプログラムを計画的に実施します。手厚い就職支援で、夢の実現をサポートします。

充実した学生へのサポート体制

充実した学生へのサポート体制

学年ごとに担任制を採用しており、定期面談やホームルームを実施しています。勉強をはじめ学生生活全般に関する相談および支援を行っています。

心理カウンセラーによる学生相談窓口を設置

学生生活の悩みや困りごとを気軽に相談できるカウンセラー2名を配置しています。心理カウンセラーが話を聞き、悩み事を解決するためのお手伝いをします。相談内容に関する秘密は厳守なので、安心して利用できます。

教員からのメッセージ

蛭田愛里先生 2015年卒業

私も数年前まで、皆さんと同じように本校で看護を学んでいました。授業や実習で悩みながらも、仲間と支え合い、先生方に導かれながら成長できた経験は、今の私の原点です。本校には、学生一人ひとりの思いに寄り添い、挑戦を後押ししてくれる環境があります。看護師を目指す皆さんの一歩を、今度は私たち教員が全力で支えます。ここで一緒に学びましょう。





教育目標

助産学科では、女性の一生に寄り添う専門職として、人間の尊厳と権利を尊重し、科学的根拠に基づいた判断力と実践力を備え、地域社会における母子保健に貢献できる助産師の育成を目指します。

1. 女性の性と生殖の側面から健康を守る助産師活動において、人間の尊厳と権利を擁護できる能力を養う。
2. 専門的知識と科学的思考に基づいた判断力と実践力を養う。
3. 女性の生涯にわたる健康を支援し、地域の母子保健に寄与できる能力を養う。
4. 多職種と連携・協働しながら、自律した役割を遂行できる能力を養う。
5. 専門職業人として自己研鑽し、助産を探究し続けることができる能力を養う。

教育目標の軸となる「3つのポリシー」

ディプロマポリシー (卒業認定の方針)

所定の課程を修了し、助産師としての役割と責務を自覚し、人間の尊厳と権利を尊重できる倫理観と豊かな人間性を備えた学生に卒業を認定します。専門的知識と科学的思考に基づく判断力と実践力を有し、地域の母子保健に貢献できる能力を身につけていることを卒業の要件とします。

- 助産師としての倫理観と責務
- 科学的思考に基づく判断力と実践力
- 地域社会への貢献と助産を探究し続ける能力

カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)

母子保健の向上に貢献できる助産師の育成を目的に、科学的根拠に基づいた講義・演習・実習を体系的に編成しています。「基礎助産学」「助産診断・技術学」「地域母子保健」「助産管理」「助産学実習」を段階的に配置し、知識・技術・態度を統合的に修得できる教育課程としています。

- 科学的根拠に基づく体系的教育
- 段階的に実践力を高める構成
- 地域と連携した学修環境

アドミッションポリシー (入学者受入の方針)

生命や人権を尊重する倫理観を基盤に、協調性と責任感をもって誠実に行動でき、相手を尊重した態度で円滑なコミュニケーションが取れる人を求めます。助産学の学習に必要な看護基礎的能力を有し、自己の学習課題を明確に捉え、主体的に学び続ける意欲のある人を入学者として受け入れます。

- 生命・人権を尊重する倫理観
- 協調性と責任感を備えた行動力
- 看護基礎的能力を有し、主体的に学び続ける姿勢

定員

25名（修業年限1年）

入学資格

看護師の資格を持つ者、又は看護師学校卒業見込みの者

卒業後に取得できる 資格・称号

助産師国家試験の受験資格

受胎調節実地指導員の申請資格

新生児蘇生法修了認定の申請資格

助産学科のカリキュラム

助産師として必要な知識と技術を、基礎から実践まで段階的に学ぶカリキュラムを編成しています。女性の健康と生殖を支える基礎助産学を土台に、助産診断・技術学、地域母子保健、助産管理を体系的に修得し、実習を通して安全で質の高い助産ケアを実践できる力を養います。



POINT

■ 基礎助産学

〈教育内容〉 助産の対象、性と生殖及び母子の健康に関する基礎的知識を学ぶ。
〈授業科目〉 助産学概論／人間の性と生殖／周産期と乳幼児の生理／周産期と乳幼児の病態／母子の健康科学／家族社会学／ウィメンズヘルス

POINT

■ 助産診断・技術学

〈教育内容〉 助産の実践に必要な基本的技術及び経過診断や正常からの逸脱を判断する臨床判断能力を養う。
〈授業科目〉 妊娠期の助産診断・技術学／分娩期の助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ／産褥期の助産診断・技術学／新生児期の助産診断・技術学／ハイリスク妊産褥婦の助産診断・技術学／緊急時の助産診断・技術学／健康教育技法Ⅰ・Ⅱ

POINT

■ 地域母子保健

〈教育内容〉 地域における母子保健活動に必要な知識を学ぶ。
〈授業科目〉 地域母子保健

POINT

■ 助産管理

〈教育内容〉 助産業務管理に必要な知識を学ぶ。
〈授業科目〉 助産管理

POINT

■ 助産学実習

〈教育内容〉 知識・技術を統合し、根拠に基づく安全で快適な助産ケアを提供できる判断力と実践力
〈授業科目〉 助産診断・技術学基礎実習／助産診断・技術学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ／地域母子保健実習／助産管理実習





母子とその家族を支える人になる 「助産師への第一歩」

助産学科は、「いのちの誕生」というかけがえのない瞬間に立ち会い、母子とその家族を支える専門職を育てる学びの場です。ここでは、母体と新生児の安全を守るための科学的根拠に基づく知識と実践的技術を体系的に習得します。また、専門職業人として豊かな人間性と母親や家族との信頼関係を築くためのコミュニケーション力、“いのちを守り、いのちをつなぐ者”としての倫理観を養います。助産学科での1年間の学び・経験は、一生の財産となり、未来の母子保健を支える確かな力となります。



1年間スケジュール

助産学科の1年は、いのちと向き合い、自分を大きく成長させ、全力で駆け抜けるかけがえのない時間。入学直後から知識と技術を集中的に学び、8月からは3か月間の臨地実習で昼夜を問わず分娩に携わり、実践力を磨きます。2月には国家試験が待ち受け、最後まで挑戦と学びが続く日々。その先には、助産師としての誇りと未来が輝いています。

4月	入学式／講義開始	12月	助産管理実習(助産所) 地域母子保健実習(産後ケアセンター)
6月	助産診断・技術学基礎実習	1月	地域母子保健実習(市町村) 母体救急シミュレーション
7月	NCPR 新生児蘇生法Aコース／分娩介助技術試験 助産管理実習(MFICU、NICU / GCU)	2月	助産師国家試験／卒業記念講演
8~11月	助産診断・技術学実習I・II・III	3月	卒業式

卒業生・教員からのメッセージ

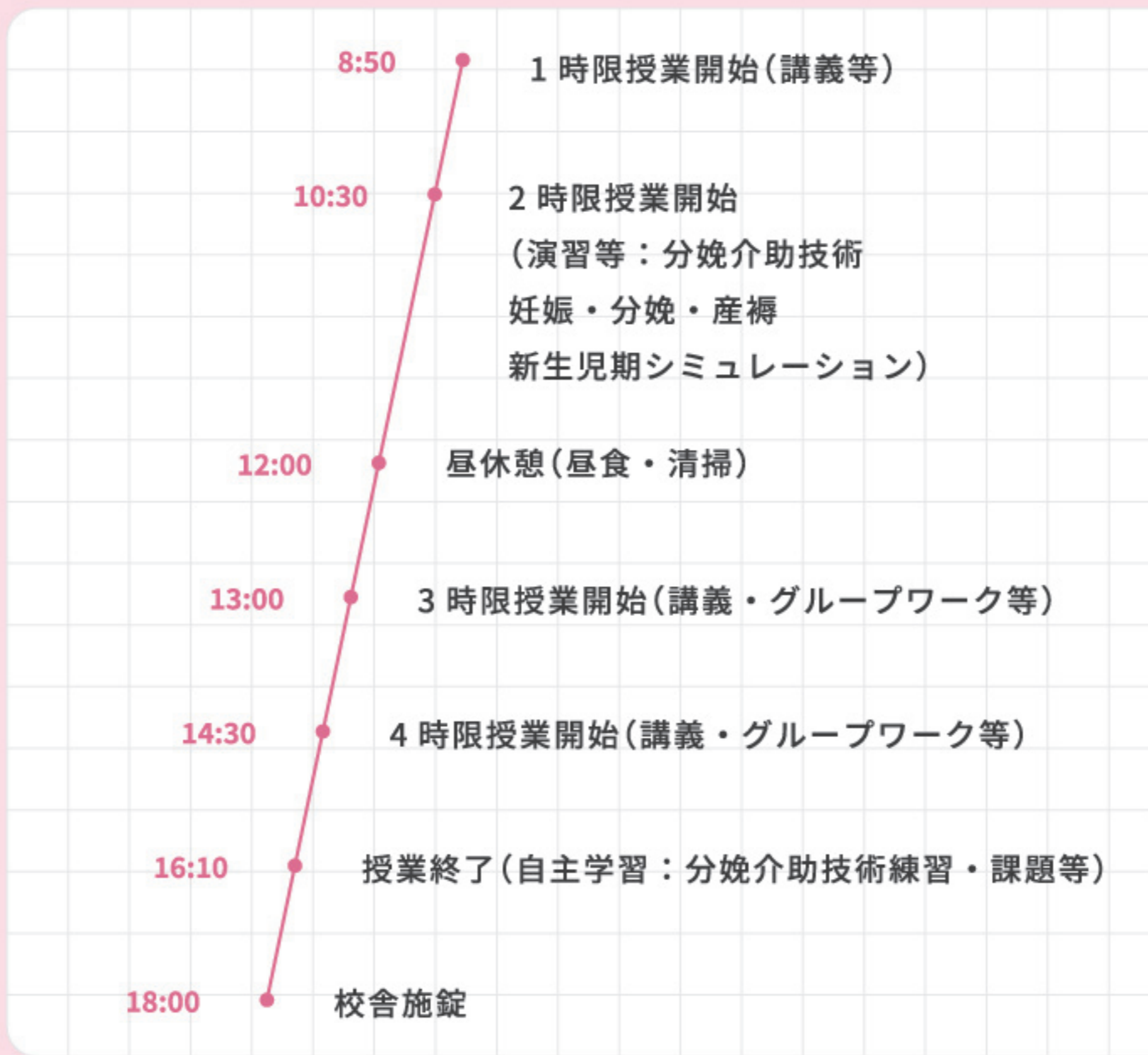


助産院 一結一 代表 菊池 愛美さん 2015年度卒業

本校の大きな魅力は、「自分がどのような助産師になりたいか」を考える機会が多くあることです。学生時代に描いた助産観は、助産師人生を支える軸となります。特に、母子やご家族に心に向け、助産に向き合い実践した実習での学びは、助産観をさらに深めることができました。それは学業だけでなく安心して実習に取り組める環境を整え、伴走してくださった先生方や、同じ志を持ち想いを共有できる仲間が存在があったからです。ぜひ本校で、あなたにしかない助産観を見つけてください。本校は、その助産観を育むことができる場所です。



本校入学後、どのような日々を過ごすのか、一例を紹介します。



実習施設

2025 年度卒業生 ※50 音順

茨城県内

茨城県立こども病院／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター／県北医療センター高萩協同病院／総合病院土浦協同病院／総合守谷第一病院／筑波学園病院／つくばセントラル病院／日立製作所日立総合病院／水戸済生会総合病院／水戸赤十字病院／とべ助産院

茨城県外

あびこ助産院(千葉県)／稲田助産院(神奈川県)／さくら産後院(栃木県)／助産院バースあおば(神奈川県)／世田谷区立産後ケアセンター(東京都)

就職施設

2024 年度卒業生 ※50 音順

茨城県内

小山記念病院／総合守谷第一病院／つくばセントラル病院／筑波大学附属病院／東京医科大学茨城医療センター／日立製作所日立総合病院／白十字総合病院／水戸済生会総合病院／水戸赤十字病院

茨城県外

いわき市医療センター／岩手県立磐井病院／高山赤十字病院／自治医科大学附属病院／総合病院国保旭中央病院／苫小牧市立病院



関根実千代先生

本校では、学生一人ひとりの学びを大切にしながら、実践的な演習やグループワークを通じて、仲間と共に成長できる環境を整えています。
分娩介助の演習では、真剣なまなざしと笑顔があふれ、互いに支え合いながら学ぶ姿が見られます。日々の挑戦を通して、学生たちは学ぶ喜びや自身の成長を実感しているように感じます。
私たち教員も、熱意を持って助産師を目指す皆さんと、共に学び、共に成長できることを心から楽しみにしています。

Campus - Interior



教室



講義と対話を通して
知識と考える力を育む教室。



学生ホール



学生同士の交流と学びを支える多目的スペース。
語り合い、支え合い、成長する場



\ Campus Facilities /
学びを支える、

本校では、実践力を身につけるための
室・図書室など、学びを支える充実し
業から演習、自己学習まで、学生一人
をご紹介します。

ICU実習室



高度急性期看護を想定した実習環境。
臨床を想定したリアルなシミュレーション演習を行う実習室。

看護実習室1・2



基礎看護技術から統合技術まで学び実践力を高める演習の場。

家庭分娩室



家庭的な出産環境を再現できる実習室。



助産実習室



妊娠から産後の助産技術を学び、いのちの誕生を支える助産師としての専門性を磨く実習室。

演習室



学生同士で、考え、話し合い、深めるためにグループワークや演習を行う学びの場。

保健室



学生の健康と安心を支える場。

充実の学習環境

多彩な実習室や、落ち着いて学べる教た施設環境を整えています。日々の授ひとりが安心して成長できる学習空間



標本室



人体構造を立体的に理解を深めるための貴重な教材の場。

沐浴室



新生児の看護技術を学び、赤ちゃんに寄り添う看護を学ぶ実習室。

図書室



学びを深め、自己学習を支える書籍が多数揃う静かな環境。

視聴覚室



講演会や多様な学習スタイルに対応した教室。

Campus Exterior /

学びのはじまる場所

本校のキャンパスは、学生が安心して通学し、落ち着いて学べる環境づくりを大切にしています。正門や講義棟、実習棟、体育館など、それぞれの施設が学びと成長の場として整えられています。日々の学生生活を支えるキャンパスの風景をご紹介します。

正面玄関



新たな学びが始まる本校の正門。

学生玄関



講義棟



各学科の教室・図書室
演習室があり、
探求する力を育む場所です。

体育館



学校行事としての式典や、運動生理学の授業で活用しています。

実習棟



学生玄関、職員室、看護・助産実習室を中心とした実習棟です。

Let's Enjoy Campus Life /

教室や実習室、そして毎日通うキャンパスの風景まで。学びの時間は、環境によって大きく支えられています。本校では、教育理念に基づき、学内施設およびキャンパス環境の整備を行っています。講義・実習・学生生活のすべてにおいて、安全で快適な学習環境を提供し、学生一人ひとりの成長と専門性の向上を支えています。



入学情報

令和9年度入学試験情報については、令和8年6月以降に「募集要項」が完成予定です。

- <資料請求について> 学校案内の冊子及び募集要項、過去問題をご希望の方は、学校窓口・郵送による請求いずれかの方法で請求してください。
資料請求の詳しい方法は、学校ホームページでご確認ください。

学費(看護学科)

入学料	5,650円(初年度のみ)
授業料	月額14,900円(4月、10月に6か月分前納)
教科書・参考書等	約350,000円/4年間(iPad購入及び設定費用込み)
教材・学会・研究会等	約650,000円/4年間(白衣・シューズ・看護技術演習物品・国家試験模擬試験等)

学費(助産学科)

入学料	5,650円(初年度のみ)
授業料	月額14,900円(4月、10月に6か月分前納)
教科書・参考書等	約200,000円(タブレット購入費含まず)
教材・学会・研究会等	約250,000円
実習費	約750,000円程度(交通費・食費は含まず)

奨学金制度

○独立行政法人日本学生支援機構奨学金(JASSO)

- ・貸与奨学金(第一種…無利子貸与奨学金、第二種…有利子貸与奨学金)
- ・給付奨学金
- ・高等教育の就学資金新制度

*日本学生支援機構の給付奨学金に申請後、採用された場合は、採用された奨学金の支援区分により、授業料等の減免額が決定されます。制度の詳細は、日本学生支援機構ホームページを参照してください。

○茨城県看護師養成等奨学資金制度

将来、茨城県内の看護職員不足地域にある医療機関等において看護職員として就業しようとする方に対し、修学資金を貸与する制度です。詳細は、茨城県ホームページ「看護師等修学資金」を参照してください。

○茨城県教育委員会奨学金貸与制度

学業成績が優れ、心身ともに健康でありながら、経済的理由で修学が困難な方のための茨城県教育委員会の奨学金制度です。詳細は、茨城県教育委員会ホームページ「茨城県奨学資金」を参照してください。

○各病院の奨学金

入学後、随時病院から奨学金のご案内をします。

ACCESS



所在地

〒309-1703 茨城県笠間市鯉淵 6528

鉄道+バスでのアクセス

JR常磐線またはJR水戸線「友部駅」下車。南口より茨城交通バス(「中央病院行」または「中央病院経由 水戸駅行」)に乗車、バス停「中央病院前」下車徒歩約3分。

徒歩アクセス

友部駅南口から徒歩で約20分です



IBARAKI PREFECTURAL NURSING SCHOOL

茨城県立看護大学校

IBARAKI PREFECTURAL NURSING SCHOOL

お問い合わせ

TEL 0296-77-0588

FAX 0296-78-0079

E-mail ibarakikango@pref.ibaraki.lg.jp

Adress 〒309-1703 茨城県笠間市鯉淵 6528

